

## 先輩に贈る、ふるさとの香り-フジバカマの匂い袋-

秋の七草の一つ「フジバカマ」は、海を渡る蝶・アサギマダラが羽休めで好む花。この花を育て、地域や他の学校との交流につなげる「虹プロジェクト」は、上野台中学校が2015年から取り組む活動で、このプロジェクト始動にも携わったのが当時中学2年生だった今年の新成人。以来、毎年アサギマダラが飛んできており、地域にもフジバカマを株分けをするなど、「虹プロジェクト」はまさに上野台中学校と地域をつなぐ懸け橋となっている。在校生と地域の皆さんが、昨年引き続きフジバカマの葉を匂い袋にして、新成人にふるさとの香りを贈った。



▲例年以上にフジバカマがよく育ち、30頭以上のアサギマダラが飛来 (R3.9)



いのうえ きらら  
井上 綺星さん  
上野台中学校2年  
(生徒会長)

ながい あさひ  
永井 朝陽さん  
上野台中学校3年  
(前生徒会長)

### 伝えたい、感謝の気持ち

「上野台中学校といえば、虹プロジェクト」と言われるほどたくさんの方に知ってもらえて、学校や生徒みんなにとって自慢の取り組みになりました。先輩方がこのプロジェクトを始め、つないできてくれたおかげ。フジバカマの香りで、故郷や母校を思い出してくれたら嬉しいです。「虹プロジェクト」は、これからも私たちがつないでいきます。



▲フジバカマの葉で作ったポプリを、2年生が一つずつ縫った匂い袋へ (R3.9)

### 届けたい、ふるさとの香り

上野台中学校から株分けをしてもらい、地域や家庭でもフジバカマを育てています。今やアサギマダラの飛来は地域みんなの楽しみにもなりました。毎年この地域にアサギマダラが飛んでくるように、一度三田を離れた新成人の皆さんも生まれ育ったふるさに帰り、活躍されることを願っています。



にしだ たかお  
西田 孝夫さん  
志手原地域づくり協議会会長



▲匂い袋やお祝いメッセージを地域の皆さんと封入。想いを込めました (R3.12)